

## 2026年度 全日本学生柔道優勝大会（男子75回 女子35回）大会要項

1. 大会名 2026年度 全日本学生柔道優勝大会（男子75回 女子35回）
2. 主催 (一社) 全日本学生柔道連盟、毎日新聞社
3. 主管 東京学生柔道連盟
4. 後援 スポーツ庁、東京都、(公財) 日本武道館、(公財) 講道館、(公財) 全日本柔道連盟、(公財) 東京都柔道連盟
5. 期間 2026年6月27日(土) 女子一部・女子二部…1回戦～決勝戦 男子…2回戦まで  
開場：午前8時00分 開会式：午前9時00分  
2026年6月28日(日) 男子…3回戦～決勝戦  
開場：午前8時00分 試合開始：午前9時00分
6. 会場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園 2-3
7. 競技規則
  - (1) 参加資格
    - ①(一社)全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ、(公財)全日本柔道連盟に登録した者。
    - ②国公立大学又は短期大学などに在籍の学生。
    - ③各地区学生柔道連盟から推薦された大学。
    - ④在学中、実業団その他の職域チームに属している者は、その大会(試合)に出場していない者。
    - ⑤本大会への選手登録回数が今年度を含め4回以下の者。但し、医学部、歯学部、薬学部、獣医学部の学生は今年度を含め6回以下の者。
    - ⑥2年次においては1年次の修得単位が**20単位以上**の者。  
3年次においては1年次及び2年次の総修得単位が**50単位以上**の者。  
4年次においては1年次、2年次及び3年次の総修得単位が**80単位以上**の者。但し、特例措置対象者を除く。  
(別紙参照)
  - (2) チーム編成
    - ①男子：各大学1チームとし、監督、指導者1、指導者2、主務各1名と、選手12名の計16名以内とする。
    - ②女子一部：各大学1チームとし、監督、指導者1、指導者2、主務各1名と選手57kg以下3名、70kg以下3名(57kg以下申し込み可)、無差別2名の計12名以内とする。
    - ③女子二部：各大学1チームとし監督、指導者1、指導者2、主務各1名と選手6名の計10名以内とする。
  - (3) 指導者資格  
選手席に帯同する監督、指導者1・2いずれかの者は、(公財)全日本柔道連盟公認指導者資格を有していなければならぬ。また、選手席に帯同する監督、指導者1、指導者2いずれかの者は、昨年度実施した本連盟の指導者研修を受講していなければならない。
  - (4) 試合方法
    - ①男子：試合は各チーム7名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手選出・配列は自由とする。
    - ②女子一部：5名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手の配列については、先鋒・次鋒は57kg以下、中堅・副将は70kg以下、大将は無差別とし、その各カテゴリー内での選手選出は自由とする。
    - ③女子二部：3名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手選出・配列は自由とする。
    - ④大会1日目(6/27(土))の対戦の確定している初戦のオーダーは朝の入館時に提出すること。  
大会2日目(6/28(日))の男子3回戦のオーダーも初日同様入館時の提出とする。  
男女ともに入館時のオーダー提出以外に対戦大学決定後7分以内に提出する。  
7分経過後は自動的に前回戦のオーダーとなる。
  - (5) 審判規定
    - ①(公財)全日本柔道連盟の定める国際柔道連盟試合審判規定の団体戦の勝敗決定方法を準用する。  
なお、試合運営上、審判員は4審制(ジュリーを含む)とする。
    - ②判定基準は、「有効」以上、または「反則負け」とする。
    - ③勝敗の決定は、勝者の多い方を勝ちとする。また、勝者同数の場合は、内容差で決定する。前述の全てにおいて同一の場合は、次のとおりとする。  
男子及び女子二部は、各大学1名の代表選手を選出し、4分間の代表戦を行う。4分間で勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。  
また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度他の代表選手を選出し、代表戦を行う。  
女子一部は、「引き分け」の階級の中から抽選で代表選手を選出し、ゴールデンスコアにより代表戦を行う。  
また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度抽選により他の階級から代表選手を選出する。  
なお、引き分けの階級がない場合は、両者反則負け等で勝敗が決していない階級の中から代表選手を選出する。

※上記代表戦は、スコアをリセットして行う。

(6) 柔道衣

本大会で着用する柔道衣は、(公財) 全日本柔道連盟の柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)とする。  
(別紙参照) なお、柔道衣の規格については、厳守しなければならない。

※本大会は、「青柔道衣」を採用する。また女子の帯は白線なしの黒帯とする。(別紙参照)

(7) ゼッケン

本大会に出場する選手は、必ず所定のゼッケンを柔道衣につけること。(別紙参照)

8. 各地区出場枠

<男子> 本大会の総出場大学数は62大学とし、各地区の出場大学数は次の通りとする。

本年度は東京地区に主管枠を1枠設け学連選抜チームとする。選抜方法は主管に一任する。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
3	4	3	10	19+1	4	10	4	5	63

<女子> 本大会の総出場大学数は62大学とし、各地区の出場大学数は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
3	4	3	11	13	5	10	7	6	62

※上記の各地区出場大学数は一部、二部のトータル数とし、その出場数の配分は各地区学生柔道連盟にて決定する。

9. 選手計量

女子一部出場大学の先鋒・次鋒・中堅・副将の出場選手は、試合前日に計量を行う。(予備計量なし)

日時: 2026年6月26日(金) 計量: 仮計量 午後2時30分~午後3時00分まで 本計量 午後3時00分~午後3時30分まで

会場: 講道館2階第4会議室

採用試験における計量時間の延長について

原則として、採用試験等において正規の公式計量の時刻に間に合わない場合、6月6日(土)までに主管事務局まで必要書類を提出することにより、計量時間の延長(1時間)が認められる。

※必要書類とは、採用試験を実施する機関からの通知文のコピー等をいう。

10. 表彰

表彰式については優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)並びにベスト8大学を対象としておこなう。

<男子> (1) 優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)、並びにベスト8大学を表彰する。

(2) 優勝大学には「文部科学大臣杯」並びに「日本武道館賞」を授与する。

(3) 技術優秀なる選手10名に「優秀選手賞」を授与する。

<女子> (1) 一部・二部ともに、優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)並びにベスト8を表彰する。

(2) 一部・二部ともに、技術優秀なる選手10名に「優秀選手賞」を授与する。

11. 優秀選手選考委員

優秀選手選考委員は、各地区の学生柔道連盟より1名を選出する。(原則として(一社)全日本学生柔道連盟理事とする)。

12. 審判員

審判員数の総数は59名とし、各地区の学生柔道連盟は下記人数の審判員を帯同することとする。

[(公財)全日本柔道連盟派遣審判員6名以内(審判長含む)、東京19名、関東12名、関西10名、北信越3名、北海道・東北、東海、中四国、九州は各2名]

13. 参加申し込み

(1) 申し込み先

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階 全日本学生柔道連盟内 東京学生柔道連盟

TEL 03-6240-0048 FAX 03-3818-1960

(2) 申し込み方法

参加申し込み責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行うこと。

また、各地区学生柔道連盟は、下記の書類をまとめて主管事務局へメールにて提出すること。

①参加選手の在学証明書・健康診断書(地区予選に登録されなかった選手のみ)

※但し、本年度においては1年生のみ在学証明書の提出を行うこと。

②プログラム掲載用写真(別紙参照)

(3) 申し込み期間

WEB申し込み期間 2026年5月25日(月)~5月26日(水) 18時まで

書類提出期日 2026年5月28日~29日(木~金) 午後5時必着 ※書類はメール

(4) 参加費

男子 - 1大学60,000円(選手分のプログラムを含)

女子 - 一部出場大学: 1大学40,000円、二部出場大学: 1大学30,000円(選手分のプログラムを含)

※各地区学生柔道連盟がその地区出場大学の参加費を取りまとめ、5月30日(金)正午までに下記口座へ振り込むこと。

参加費の振り込みが確認できない場合は、本大会への出場を認めない。

参加費は各地区連盟の指定先へ振り込むこと。

<振込先> 三井住友銀行 小石川支店(813) 普通428679 (一社)全日本学生柔道連盟 会長 沖永 佳史

(5) 選手変更

女子一部においては、6月19日(金)午後5時までに、必要書類を添えて主管事務局までメールにて提出した選手の変更を認める。但し、階級間の移動は認められない。

なお、選手以外の変更(監督・指導者1.2・主務)6月16日(火)までとする。

※必要書類とは、変更用紙、変更前選手の辞退理由書(怪我・病気の場合は診断書も添付)と変更選手の在学証明書(1年生のみ提出)、健康診断書とする。

14. 組み合わせ

本大会組み合わせ抽選会は、(一社)全日本学生柔道連盟役員立ち合いのもと、東京学生柔道連盟により行う。

日時:2026年6月13日(土) 時間:午前10時00分～

会場:オンライン

シード校:シード基準は別紙による

その他:抽選会をオンライン配信する。

15. 審判員会議

日時:2026年6月26日(金) 時間:18時～

会場:講道館2F 教室

16. 審判員集合

日時:2026年6月27日(土) 詳細は審判会議にて説明

17. 監督会議

日時:2026年6月25日(木) 時間:19時～

会場:オンライン

※監督会議では、大会上の注意事項についての伝達や、申し込み時に登録した監督・指導者1・指導者2のいずれか1名が出席すること。なお、無断欠席した場合は大会への出場が認められないことがあるので注意すること。また、参加人数は各大学1名とする。

18. 安全対策

本大会主催者は、大会出場選手に対する傷害保険に必ず加入するとともに、救急指定病院の手配を行う。

また、試合場に医師を配置し、必要に応じて応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。

なお、大会当日、出場選手は必ず保険証を持参すること。(コピーの保険証は不可)

19. 練習会場

6月26日(金):12時～16時 講道館5階

6月27日(土):9時～16時 講道館5階

※白道着のみ・インナー不可(女子は白のインナーのみ可)

20. 大会事務局

主催事務局 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内 (一社)全日本学生柔道連盟

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

主管事務局 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階 全日本学生柔道連盟内 東京学生柔道連盟

TEL 03-6240-0048 FAX 03-3818-1960

※質問・問い合わせ等は、すべて主管事務局である東京学生柔道連盟に行うこと。

21. その他

(1) 健康診断書の提出について

健康診断を提出できない大学・選手は健康診断書代替書を提出すること。

なお、持病や既往症がある出場選手は学校医やかかりつけ医等からの出場許可を得ること。

(2) 脳振盪の対応について

選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(3) 皮膚真菌症について

皮膚真菌症(トンスランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。

選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、その選手の本大会への出場を禁止する。但し、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。

(4) 個人情報取り扱いについて

①WEBでの申し込みに記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合がある。

②提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはない。

③WEBでの申し込みをもって、上記(4)の①、②の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をする。

※個人情報取り扱いについて不明な点等がある場合は、(一社)全日本学生柔道連盟事務局にお問い合わせのこと。

(5) 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止対策については別途資料に従うこと。

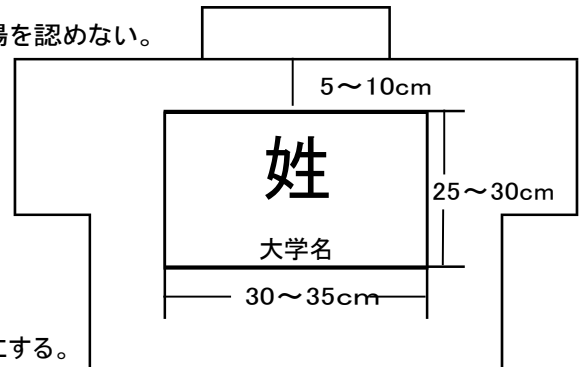
※要項は変更する場合がございます。

# ゼッケンについて

(一社)全日本学生柔道連盟主催の大会に出場する全ての選手は、(公財)全日本柔道連盟の規定に定められたゼッケンを付けることを義務づける。

適合したゼッケンを付けていない場合は、原則として出場を認めない。

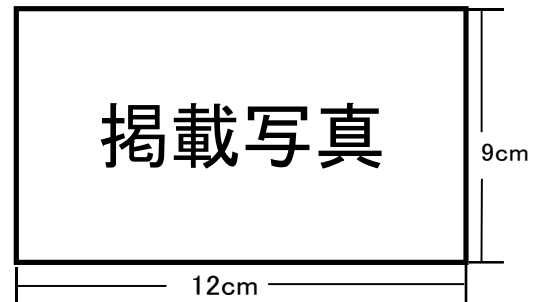
- 1) サイズは、横30～35cm × 縦25～30cmとする。
- 2) 布地は白色とする。
- 3) 文字の色は、男子は黒、女子は赤とする。
- 4) 縫い付けの場所は後ろ襟から5～10cm下方とする。
- 5) 縫い付けは、周囲のみではなく対角線にも行う。
- 6) ゼッケンへの記載は苗字を上部2/3、所属を下部1/3にする。



## プログラム掲載用写真について

プログラム掲載用写真について

- 写真サイズ サービス判(約12cm × 約9cm)
- 撮影 男子の大会は三列、女子の大会は二列とする。  
原則出場選手とし、柔道着を着用すること。  
顔が鮮明であること。
- カラーコピー不可とし、写真用紙もしくはデータで提出すること。
- 写真の条件
  - ・監督、選手のみ(出場選手全員で写ること)
  - ・柔道衣を着用すること。
  - ・顔が鮮明であること。
  - ・男子選手はインナーの着用を禁ずる。
  - ・女子の場合は試合と同じような無地の白のインナーのみ可。
  - ・柔道衣は白、大学の道着を着ているもののみ可。  
(ただし新一年生の場合無地の柔道衣で代用可。)
  - ・上記の定められた写真以外は受理不可とする。



### 《受理不可の例》

- ・人物が小さすぎる。
- ・カラー柔道衣や高校名の入った柔道衣を着用している。
- ・最前列の選手が上半身しか写っていない。
- ・ピースサインなどのポーズをとっている。
- ・全体的に白くもやがかかっている。

など

提出の際は確認の上、期限日までにご提出をお願いいたします。

# 柔道衣・女子の帯について

(一社)全日本学生柔道連盟主催の大会に出場する全ての選手は、白柔道衣と青柔道衣を着用することを義務づける。

適合した青柔道衣を用意していない場合は、原則として出場を認めない。

1) 白柔道衣にはIJF マーク(赤マークのみ可)

もしくは、全柔連承認番号(赤字、黒字ともに可)のついたものを着用すること。

2) 青柔道衣にはIJF マーク(赤マークのみ可)のついたものを着用すること。

3) 柔道衣の大きさは、赤マークの規格に適合するサイズのものとする。

なお、試合場へ入場する前に、必ず審判員による柔道衣検査を受けること。必要に応じて柔道衣の交換を指示されたものは、適切な柔道衣を着ること。柔道衣の交換は、チーム内で行うこと。柔道衣の交換を認めた場合は、確認した審判員が試合場係員と審判員に必ず伝えることとする。

4) 女子も黒字の帯を使用すること(白線入りは認めない)。